港湾ロジスティクスワーキンググループとりまとめ（概要）

我が国における港湾の果たす役割と港湾ロジスティクスの必要性

- ✓ 我が国の港湾は、貿易量の99%以上を扱うとともに、その背後は人口や産業が集中する重要な地域となっており、国民生活及び経済活動を支える重要な役割を果たしている。
- ✓ また、港湾は、国内と海外、海上輸送と陸上輸送の結節点、積替拠点として、原材料の調達から輸送、生産、保管、流通に至るまでのロジスティクスやサプライチェーンの一連の流れを支える基幹インフラである。

➡
- ◆ リスクの最小化に資する「危機管理投資」の観点から、他国に過度に依存しない戦略的自律性を確保するとともに、
- ◆ 国際社会における日本の優位性、不可欠性を高め、国際競争力を強化する「成長投資」の観点から、民間投資を促進し、他の戦略分野の成長にも資する「港湾ロジスティクスの強化」が必要不可欠。

港湾ロジスティクスが抱える課題・リスク

厳しさを増す経済安全保障環境	厳しさを増す国際情勢とサイバー脅威の増大	少子高齢化・人口減少に伴う労働力人口の減少
● 物流を他国に過度に依存することによる非常時等の大幅な物流遅延・途絶等のリスク	● ターミナルオペレーションシステム等へのサイバー攻撃等による物流機能停止のリスク	● 港湾ロジスティクスの担い手である港湾労働者等の不足に伴う物流サービス低下・機能停止のリスク

港湾ロジスティクスの強化に向けて講ずるべき施策

①自律的な港湾ロジスティクスの実現による国際競争力の強化

ⅰ）他国に過度に依存しないサプライチェーンの構築
- ○大水深・大規模コンテナターミナルの整備や既存ターミナルの再編・機能強化の着実な推進
- ○***ターミナルのさらなる生産性向上「AIターミナル2.0」***
- ○***港湾運営会社によるターミナル運営機能の強化と財務基盤の強化***
- ○国際コンテナ戦略港湾への集貨等
- ○***港湾荷役機械の生産機能の強化***
- ○***自動化ターミナル等港湾分野の国際標準化に向けた動きへの対応***
- ○海外港湾の整備・運営への戦略的関与

ⅱ）生産性向上、DXや脱炭素化の取組による「選ばれる港湾」の実現
- ○コンテナターミナルにおける高度化に資する技術開発
- ○***自動化・遠隔操作化等荷役機械の導入促進***
- ○大型X線検査装置を活用した検査強化と物流円滑化による港湾の信頼性向上
- ○***サイバーポートを中心としたデータプラットフォームによる港湾手続のデジタル標準化***
- ○カーボンニュートラルポートの形成、次世代燃料バンカリングの推進

ⅲ）港湾を起点とした物流サプライチェーンの強靱化
- ○***次世代型倉庫による港湾背後のロジスティクス機能の強化***

等

②サイバー・フィジカル両面での港湾の強靱化

ⅳ）サイバー面での港湾の強靱化
- ○ 港湾運送事業におけるサイバーセキュリティ対策の強化
- ○ サイバーポート及びNACCSのサイバーセキュリティ対策の強化
- ○ コンテナターミナルにおける大規模停電対策等

ⅴ）フィジカル面での港湾の強靱化
- ○ 港湾の災害対応力の強化によるサプライチェーンの強靱化

等

③港湾ロジスティクスを支える担い手の確保・育成

ⅵ）「港湾労働者不足対策等アクションプラン2025」等の実施
- ○ 労働環境改善による担い手の確保
- ○ 港湾運送事業の取引環境改善
- ○ 港湾運送事業における人材育成

等

- ➢ ターミナル運営機能の強化等による国際コンテナ戦略港湾政策のより一層の推進、自動化・遠隔操作化等荷役機械の導入促進等による生産性の向上等を、サイバーセキュリティ対策や担い手の確保・育成と合わせて講ずることで、自律的な港湾ロジスティクスの実現を図る。
- ➢ 「港湾荷役機械」、「サイバーポート（港湾物流DX）」、「次世代型倉庫」の3つのロードマップに基づき官民の投資を促進し、「危機管理投資」「成長投資」による強い日本経済の実現に貢献する。